

科学技術イノベーションの創出と アントレプレナーシップ

～台湾バイオ医薬品ベンチャーの成功に学ぶ～

2016年12月7日(水)

13:00-18:00

神戸大学 百年記念館

神戸市灘区六甲台町1-1

日英同時通訳付

- 国家戦略としてバイオ産業の育成に力を入れている台湾では近年、国際的な競争力をもつバイオベンチャーが誕生している。
- 本セミナーでは、台湾と日本から有力バイオベンチャーのCEO等を招き、その経験からそれぞれの成功要因や更なる成長に向けた課題などを明らかにする。

12:30 受付開始

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:25 基調講演Ⅰ「台湾におけるバイオベンチャーの動向」

CHEN Chao Jung (台湾政府経済部)

13:25-13:55 基調講演Ⅱ「Aprinoiaの成功経験」 JANG Ming Kuei (Aprinoia Therapeutics Inc.)

13:55-14:25 基調講演Ⅲ「EirGenixの成功経験」 LIU Lee Cheng (EirGenix Inc.)

14:25-14:40 休憩

14:40-14:50 「日本の株式市場におけるバイオベンチャーの動向」

定田 充司 (株) 東京証券取引所)

14:50-15:20 「日本発バイオベンチャーの紹介」

金本 昭彦 (オーピーバイオファクトリー (株))

河野 悠介 (JITSUBO (株))

神戸大学発バイオベンチャー (調整中)

15:20-16:40 パネルディスカッション「バイオ医薬品ベンチャー成功の秘訣」

JANG Ming Kuei、LIU Lee Cheng、金本 昭彦、河野 悠介

CHEN Brian (大和企業投資 (株))、山本 一彦 (神戸大学)

16:40-16:50 閉会挨拶

17:00-18:00 懇親会 (カクテルパーティー形式)

セミナー参加費 無料 懇親会参加費 2,000円

参加申込締切日 2016年11月30日 (水)

参加申込は、下記ウェブサイトから

<http://entrepreneurshipko.wixsite.com/seminar2>



講演者・パネリスト

CHEN Chao Jung

台湾政府經濟部工業局民生化工組副組長

CHEN氏は、台湾政府經濟部（日本の経済産業省に相当）にてバイオ・製薬セクターを所管し、同セクターの発展と投資促進について主導的な役割を担い、また台湾政府系ファンドの投資評価等も支援している。当該分野における日台間のキーパーソンのひとり。

LIU Lee Cheng

EirGenix Inc. CEO

EirGenixは、2012年に台湾政府のバイオ研究機関からのスピンアウトによって設立された。同社は、バイオ医薬品の後続品（バイオシミラー）開発、受託開発・生産を行い、日本の上場企業との取引実績もある。Dr. LIUは、ノバルティス、アンジェスMG米国法人等の要職を経て、EirGenixを創業。

金本 昭彦

オーピーバイオファクトリー（株）代表取締役

オーピーバイオファクトリーは、沖縄の海洋生物を中心とした天然生物資源の収集、天然生物由来の有用化合物探索、共同研究、受託開発等を行っている。当該分野を専門とする企業は世界に数社しかなく、日本では唯一当社だけ。金本氏は、海洋調査会社勤務等を経て、2006年にオーピーバイオファクトリーを創業、代表取締役を務める。

CHEN Brian

大和企業投資（株）ディレクター

大和企業投資は、国内や海外（主にアジア）のベンチャー企業等に投資を行っており、台湾においては、創薬・ライフサイエンス分野への投資が中心である。Dr. CHEN（化学博士）は、台湾政府系バイオ開発機関等でのベンチャー創業支援を経て、2015年に大和企業投資に参画。

山本 一彦（モデレーター）

神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科教授、同・経営学研究科教授（兼任）

住友電気工業（株）、（株）野村総合研究所（企業財務調査室）を経て、ベンチャー企業で財務、経営戦略の責任者を経験。1998年に独立、創業期専門のベンチャーキャピタルを創業して、代表取締役を務める。その後、2016年3月に同社の代表取締役を退任し、同年4月から現職。

JANG Ming Kuei

Aprinoia Therapeutics Inc. CEO

Aprinoiaは、神経変性疾患（例：アルツハイマー病等）の診断薬・治療薬の開発を行うバイオベンチャー。現在先行している診断薬の開発はステージ1。Dr. JANGは、メルク、GSK、MDアンダーソンがんセンター（米国テキサス州）等での研究チームを率いた後、2015年にAprinoiaを創業。

定田 充司

株式会社東京証券取引所 上場推進部 調査役

定田氏は、2008年（株）東京証券取引所に入社。日本貿易振興機構等の出向を経て、2014年より国内外の事業会社に対するIPO誘致を担当。上場推進部は、証券会社や監査法人等のIPO支援機関との連携をはじめ、経営者向けセミナー開催やIPO候補企業への個別訪問などを通して、ベンチャー企業等の上場を推進。

河野 悠介

JITSUBO（株）代表取締役CEO

JITSUBO（ジツボ）は、医薬品の原薬となるペプチドの構造最適化技術と、高品質で低コストなペプチド原薬を製造する革新的な合成技術により、アンメットメディカルニーズの充足と持続可能な医療への貢献を目指している。河野氏は、大手化学メーカーでの研究職を経て、JITSUBOに参画。2012年より代表取締役CEOを務める。

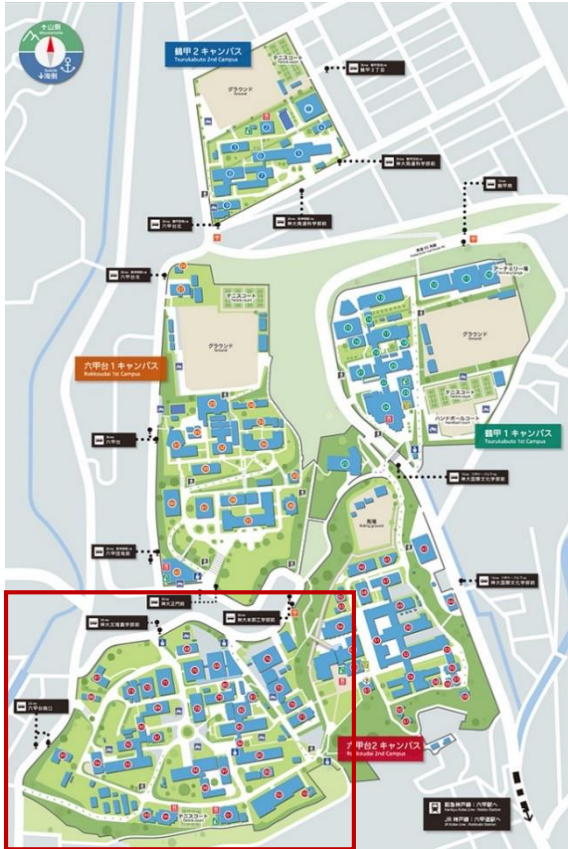
忽那 憲治（コーディネーター）

神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科副研究科長（教授）、同・経営学研究科教授（兼任）

財団法人日本証券経済研究所研究員、大阪市立大学経済研究所専任講師、助教授、神戸大学大学院経営学研究科助教授、教授を経て、2016年より現職。NPO現代経営学研究所（RIAM）戦略的企業家教育センター長も務めている。

セミナー会場へのアクセス

六甲台キャンパス全体図



六甲台2キャンパス拡大図



⑱百年記念館 六甲
ホール

↑ ⑳百年記念館 神戸大学六高台地区[文理農学部前]

■ 最寄り駅から

徒歩

阪急「六甲」駅から約 15～20 分

バス

阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から
神戸市バス [36 系統鶴甲団地行](#)、[鶴甲 2 丁目止まり行き](#) 乗車
「神大文理農学部前」下車

タクシー

阪神「御影」駅から約 15～20 分

JR「六甲道」駅から約 10～15 分

阪急「六甲」駅から約 5～10 分